

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 16 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・12/16 11:38 淡水化装置(逆浸透膜型)2-2の高圧ポンプの振動が高めであることを確認したため、念のため同装置を手動停止。現場において、水漏れがないことを確認。今後、対応を検討する予定。なお、淡水化装置(逆浸透膜型)2-1については運転を継続しており、引き続き滞留水の処理を実施中。また、原子炉注水はバッファタンク内の淡水化処理した水により継続実施することから影響なし。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/30 18:03～12/13 7:51 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・12/15 14:22～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/15 10:00～12/16 16:00 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (12/16 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,478 mm(水位上昇累計:2,695 mm) 12/15 7:00 から 80 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 1,553 mm(水位上昇累計:2,279 mm) 12/15 7:00 から 1 mm 下降

- ・12/12 9:30 3号機復水貯蔵タンクの塩分濃度をさらに下げるとの給水に先立ち、同タンクから同号機タービン地下へタンク貯蔵水の移送を開始。その後、同タンクの水位レベルの変動から移送水量の低下が確認されたため、12/14 12:00 頃、タンク貯蔵水の移送を一時停止。なお、現場にて水の漏えいがないことは確認済み。
- ・12/15 12:30 頃 配管のフラッシングを実施し、移送を再開。その後、移送水量に異常が見られないため、原因は配管の詰まりによるものと推定。
- ・12/16 16:00 3号機復水貯蔵タンクから同号機タービン地下へタンク貯蔵水の移送を完了。

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/16 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (12/15 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,195 mm (12/15 7:00 から 32 mm 上昇)	O.P.+ 4,166 mm (12/15 7:00 から 56 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 2,960 mm (12/15 7:00 から 55 mm 上昇)	O.P.+ 2,934 mm (12/15 7:00 から 20 mm 上昇)	O.P.+ 3,089 mm (12/15 7:00 から 50 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,145 mm (12/15 7:00 から 9 mm 下降)	O.P.+ 3,114 mm (12/15 7:00 から 12 mm 下降)	O.P.+ 3,346 mm (12/15 7:00 から 14 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,114 mm (12/15 7:00 から 9 mm 上昇)	O.P.+ 3,110 mm (12/15 7:00 から 7 mm 下降)

12/15 16:00 時点の数値を記載(12/16 7:00 時点の数値は機器読み取り不良によるため。)

<放射性物質のモニタリング>
海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	12/15	8:50	ND	0.17	0.13
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	12/15	8:20	ND	0.03	0.01
福島第二 3,4号機放水口付近	12/15	8:20	ND	ND	0.01
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	12/15	7:55	ND	0.02	ND

・その他、福島第一原子力発電所沖合8地点(12/14採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (12/16 11:00時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.5
2号機	循環冷却システム	運転中	18.4
3号機	循環冷却システム	運転中	15.3
4号機	循環冷却システム	運転中	23

【4号機】・11/29～使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注水・原子炉の状況> (12/16 11:00時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.5m ³ /h, 炉心スプレイ系:約2.0m ³ /h)	35.6	36.3	109.5 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.9m ³ /h, 炉心スプレイ系:約6.0m ³ /h)	63.5	67.2	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.8m ³ /h, 炉心スプレイ系:約5.8m ³ /h)	56.6	63.4	101.6 kPaabs

【1号機】・12/16 9:40 炉心スプレイ系からの注水量を約1.6m³/hから約2.0m³/hへ調整。(給水系からの注水量は約4.5m³/hで継続。)

【4号機】【5号機】【6号機】特に変化なし

<その他>

- ・10/7～伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・12/15 2号機格納容器ガス管理システムにおいてバイアル瓶によるサンプリングを実施。分析の結果、原子炉格納容器ガス管理システム入口でXe-135が検出限界値(9.1×10⁻²Bq/cm³)未満であり、再臨界判定基準である1Bq/ccを下回っていることを確認。
- ・12/16 9:10 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋))の大物搬入口内側の分電盤内に焦げ痕があることを発見したことから、9:19に消防署へ連絡。なお、煙等の発生は確認されていない。
10:28 当該分電盤への電源供給を停止。
12:05 消防署による現場確認の結果、火災ではないと判断。
14:30 当該分電盤への電源供給を再開。

以上